

令和5年10月17日(火)
香川県立高松商業高等学校
担当：教諭 大澤
電話：087-833-1971

高松商業高校英語実務科3年生が 探究活動の成果を教育長に報告します。

高松商業高校英語実務科では総合的な探究の時間を使って地元企業と開発したお菓子、「さぬきひめの雫」を7月に発売、10月からは栗林公園にあるかがわ物産館 栗林庵でも販売を開始したところです。この度、開発に関わった3年生4名がこれまでの活動や探究活動で得た成果と学びを淀谷教育長にご報告します。

- 日時：令和5年10月23日(月)
16:30~17:00
- 場所：香川県教育委員会 教育長室(天神前分庁舎6階)
- 訪問者：香川県立高松商業高等学校
校長 山本 主税(やまもと ちから)
指導者 大澤 由美(おおさわ ゆみ)
生徒 荒元 咲蘭(あらもと さら)
池田 理那(いけだ りな)
大島 来実(おおしま くるみ)
川西 里奈(かわにし りな)
(英語実務科3年4名)



- 報告内容： 本校英語実務科3年生4名が開発商品「さぬきひめの雫」に関わる活動と学びについて報告します。

総合的な探究の時間を使って「香川の魅力を発信するには？」という課題に取り組む中で、地元企業の協力を得、リサーチや企画会議を重ねて7月29日に先行発売を開始しました。9月5日には栗林庵で商品のプレゼンテーションを行い、販路拡大の活動も研究しています。年間1万箱の売り上げを目指しており、利益の一部を高松子ども食堂ネットワークへ寄付することが最終目標です。今後後輩に引き継いで活動します。

今回の活動を通し、郷土愛に気づいた者、発信力の大切さに気づいた者、ほかの活動にもよい影響をもたらした者など、生徒それぞれが成長を自覚するに至った、探究活動の成果をご報告します。

- 協力企業 ツジセイ製菓株式会社

